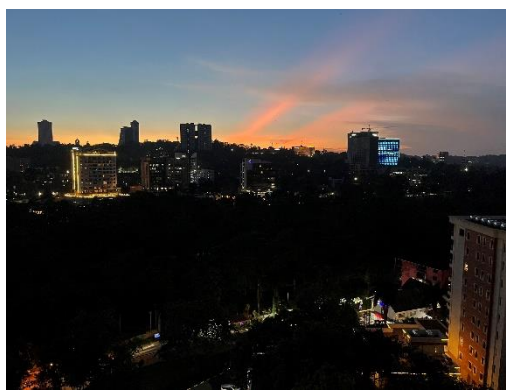


ウガンダの企業グループ



[カンパラの夜景]

ウガンダで日本の企業が活動をする際、現地の事情に精通した信頼できるパートナー企業の協力を得る事が非常に重要です。日本企業支援の窓口である大使館に対してもそのような現地企業についての照会が来ることがよくあります。今回の特別号ではウガンダで比較的大きな事業を手がける企業を紹介したいと思います。

1、シンバ・グループ The Simba Group

ライオンのシンボルマークで有名なシンバ・グループはパトリック・ビタチュレ氏(Dr. Patrick Bitature)が率いる企業グループです。同グループは、1998年にシンバ・テレコムがMTN ウガンダのフランチャイズとなったことを起点としています。現在ではテレコムのほか、不動産業、ホテル業、エネルギー、農業などの分野で多面的に事業を展開しています。

2、ルパレリア・ホテル・グループ Ruparelia Group of Hotels

ルパレリア・ホテル・グループを率いるスドヒル・ルパレリア氏(Dr. Sudhir Ruparelia)の曾祖父がケニアのモンバサからウガンダに移住してきたのは1903年のことです。それ以来勤勉で有名な彼の一族はウガンダ随一のホテルグループを築き上げました。同グループの傘下には、スピーク・リゾート、カビラ・カントリー・クラブなどがあります。

2024年1月にウガンダは初めてG77及びG77プラス中国の首脳会合をホストしました。この時に会場となったのがカンパラ郊外ムニョニョにあるスピーク・リゾート・ホテルでした。

3、バライム・ムワンガ・キビリゲ (Hajji Bulaimu Kibirige、BMK)

BMKが製造業や商業のビジネスを始めたのは1986年です。90年代後半に入りホテル業界にも参入しました。その後カンパラ市内の大きなホテルであるホテル・アフリカーナを創設、その運営に成功します。現在ウガンダ中を走り回るモーターバイク(ボダボダ)をウガンダに導入し、ボダボダという言葉を使い始めたのは同氏だと言われています。

残念ながらBMKは2021年9月に68歳の若さで亡くなりました。彼のグループはその後彼の一族によって運営されています。

4、カキラ 製糖 (Kakira Sugar Works Limited)

ウガンダのどこのスーパーに行ってもライオンが歩いてくる絵で有名なカキラの砂糖が置いてあります。カキラ製糖はウガンダにおける最大の製糖メーカーの1つであり、カンパラの東約70キロにあるジンジャに本拠を持っています。

今ではカキラ・グループの企業は東アフリカのみならず中東やインドに広がっています。日本の家庭用洗剤、消毒薬などのメーカーであるサラヤは、ジンジャのカキラ製糖工場内に生産設備を有しています。

5、ティアン・タン・グループ (Mr. Zhang Zhigang、commonly known as Mr. Paul Zhang)

中国出身のポール・ザン氏がタンザニアで事業を始めたのは2000年代の初めです。その後彼はウガンダに移りティアン・タン・グループを2006年に創設しました。以来数多くの不動産開発を手がけました。

その後ティアン・タン・グループはウガンダ政府の委託を得てムバレに工業団地を創設しました。今では50以上の企業がこの工業団地で生産活動を行っています。

6、ザン・グループ (Mr. Sam Zhang Hao)

ザン・グループ(Zhang Group)を率いるのは中国出身のサム・ザン・ハオ氏です。同グループはウガンダ政府の委託を受けカペカに工業団地を造成しました。現在20を超える企業がこの工業団地で生産活動に従事しています。

(以上)